

## 第 23 回総務企画専門委員会 議事録（概要）

### 1 日時

令和 7 年(2025 年) 2 月 6 日（木） 10:00～10:45

### 2 場所

滋賀県危機管理センター 1 階 会議室 3

### 3 出席委員（五十音順、敬称略）

赤尾 優文 委員、明石 芳夫 委員、石河 康久 委員、太田 千恵子 委員、大森 文子 委員、門 久仁裕 委員長、雲根 ひとみ 委員、小嶋 栄子 委員、中西 功 委員、西島 義典 委員、廣瀬 年昭 委員、松永 敬子 委員、山本 博一 委員（委員定数 15 名中 13 名出席）  
（欠席委員：高木 和彦 委員、千代 良明 委員）

### 4 会議概要

#### 【報告事項】

(1) わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ文化プログラムについて

質疑および意見なし

(2) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポでの環境対策について

<委員>

ウォーターサーバーの設置について言及があったが、どれくらい設置される予定か。本学にも設置されており、非常に多く活用されている。設置される場所・機種によっては水が飛び散る場合もあるので留意いただきたい。

<事務局>

主目的としてはマイボトルを持ってきていただくことで、プラスチックごみを削減することであり、その手段としてウォーターサーバーを設置する予定。県主催のラグビーフットボール競技のリハーサル大会でも設置した。現在設置箇所・数等については検討中であり、市町にも呼びかけているところ。

<委員>

このような打ち出し方だとかなりの数を設置されるような印象を受ける。そうではないのであれば、マイボトル持参の推奨を前にもってきて、ウォーターサーバーもあるような形で打ち出し方をされた方がよい。

<事務局>

開閉会式会場ではペットボトルの持ち込みができないため、そうした事情を踏まえた設置をする予定。競技会場によっては熱中症対策の観点からペットボトル飲料も提供される予定であり、実情に応じて設置を検討される。ご指摘も踏まえ、誤解を招かないよう打ち出し方についてはもう少し検討したい。

- (3) わたSHIGA 輝く国スポ 正式競技・デモンストレーションスポーツ競技会場名の変更について  
質疑および意見なし

**【審議事項】**

- (1) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 荒天時の式典会場（案）  
案のとおり承認された

- (2) わたSHIGA輝く国スポ 競技施設整備計画（第7次）（案）  
案のとおり承認された

**【審議事項および報告事項以外の関連質問・意見】**

<委員>

国スポを契機とした施設改修について、市町から申請があった分については県で把握し、支援されているかと思うが、トイレの洋式化や授乳室の設置、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入がどの程度進んだのか、国スポのレガシーとして検証いただきたい。

また、大会期間中に移動型の授乳室がどれくらい設置されたかや屋外の更衣室がハラスメントの観点から本当に使える状況になっているのかなども把握いただけるとありがたい。

<事務局>

トイレの改修については先ほどご審議いただいた整備計画においても6か所あり、競技会の運営に必要なバリアフリー改修については実施されていると認識。

国スポ・障スポの両大会は「誰もが輝ける大会」ということで、みなさんが使いやすい施設にするということも大きな役割だと考えており、授乳室含め授乳・搾乳・おむつ替えができるスペースの設置について、県と市町の取組として声掛けをしている。ハード面だけでなく、ソフト面も充実させてまいりたい。

大会後のレガシーについては総括として整理したい。

<委員>

ダイハツアリーナの建設時に選定委員として参加した。多目的トイレは素晴らしいが、人が多いときは混雑するため、車いすでも一般トイレを使用できるよう区画を広くしていただくようお願いし、広くしていただいた。しかし、ドアの開き方が障壁となって車いすでは利用できないという課題があり、改善をお願いしたことがある。そういった声は届いているか。

<委員>

一般トイレも車いすで利用できるようにというご要望については承知している。一方でダイハツアリーナは最大 5,000 人を収容する大型の施設であり、それを踏まえたトイレの数を満たす必要もある。そこで一般トイレの利用ということではなく、多目的トイレを基準以上に設けることで対応させていただいている。

営業開始から 1 年以上経過し、トイレの利用についても課題の把握に努めているところ。別途、滋賀レイクスの B プレミア参入に向けてトイレ改修も要件の一つとなっているため、それに併せて検討してまいりたい。

<委員>

各市町により今年度リハーサル大会が開催され、見えてきた課題や良い事例について共有されているか。

<事務局>

リハーサル大会ではソフト面・ハード面の課題を見つけることが重要である。各競技の主権である市町とは担当者レベル、課長レベルでそれぞれ会議を設けており、課題の共有や統一的な取組の推進を図っているところ。

<委員>

先ほどご意見のあったトイレ改修については国スポには間に合わないということによいか。

<委員>

国スポ開催時には間に合わないため仮設での対応となる。国スポの来場者をベースに常設するとその後の維持管理に対する県民の方々の負担が多くなるため、一定仕分けさせていただいている。ご意見も踏まえて国スポ・障スポ大会局とも協力しながらすすめてまいりたい。

<委員>

大会の開催だけでなくこれを契機として改善されていくのは素晴らしいことだと思う。より使いやすい施設になり、スポーツに関わる県民の方が増えていくのが目的でもあると思うので、施設の改善についてしっかり県民の皆さんに伝えていただきたい。